

## I. 流動性リスク管理に係る開示事項【連結】

### 1. 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

当社グループでは、資金繰り運営の重要性を認識し、安定した資金繰り運営をおこなうことを資金繰りリスク管理の基本方針としております。また、商品ごとの市場規模、流動性等その市場特性等を勘案し、市場流動性に十分配慮することを市場流動性リスク管理の基本方針としております。

流動性リスク管理方法として、早期警戒指標のモニタリングをおこなうなど日々の資金繰り状況に留意し、資金繰りリスクの抑制に努めております。資金繰りリスク管理部署は、流動性の高い資産の保有方針や運用と調達の一定期間の資金ギャップに限度額を設定するなど資金繰りリスク管理方針を定め、流動性リスク管理をおこなっております。

### 2. 流動性に係るリスク管理上の指標に関する事項

子銀行では、内部管理上の流動性資産として、現金、預け金、担保差入可能国債残高、共通担保余裕額等の合計を「即日資金化可能資産」と定め、日々資金繰りの管理をおこなっております。また、オンバランスおよびオフバランス項目の満期区分別の資金流入・流出に係るギャップ、主要な調達先と調達手段、流動性カバレッジ比率、安定調達比率の水準等について、定期的なモニタリングを実施しております。

なお、即日資金化可能資産、流動性カバレッジ比率、安定調達比率等については各種限度額、協議ポイント等を定め、適切な流動性リスク管理をおこなっております。

また、外貨については市場からの調達が多いことから、外貨調達環境が悪化し市場での再調達が困難となる事態を想定したストレス・テストにおいて資金繰りが可能であることを確認しているほか、外貨運用・調達の安定度を表す外貨安定比率を計測・管理し外貨バランスシートの中長期的な安定的維持を図っております。

### 3. その他流動性に係るリスク管理に関する事項

当社グループでは、流動性リスク管理の重要性を認識し、風評など不測の事態による資金繰りの逼迫が生じても、必要とされる流動性の確保が可能となるよう、運用・調達バランスのコントロールならびに資金繰り運営をおこなっております。特に、外貨調達において効率的・安定的な資金運用をおこなうために、調達先の分散と調達手段の多様化を図っております。

また、流動性危機時の対応として「危機管理マニュアル」を定め、緊急時に迅速かつ適切な対応を図る体制を整備しております。

## Ⅱ. 流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項【連結】

### 1. 時系列における流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

当社グループの流動性カバレッジ比率は、2022年12月31日基準の初回算出以降、安定的に推移しております。

### 2. 流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

規制で求められる流動性カバレッジ比率の最低水準を上回っており、特段の問題はないものと考えております。

なお、今後の流動性カバレッジ比率の実績値は、当初の見通しと大きく異なっていません。

また、今後の流動性カバレッジ比率の見通しが現在の水準から大きく乖離することは想定していません。

### 3. 算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

算入可能適格流動資産については、主に債券や預け金等により構成されており、通貨又は種類等の構成や所在地について、著しい変動はありません。

また、主要な通貨（当該通貨建て負債合計額が、当社の負債合計額の5%以上を占める通貨）において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間著しい通貨のミスマッチはありません。

### 4. その他流動性カバレッジ比率に関する事項

① 持株流動性比率告示第28条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」は適用していません。

② 持株流動性比率告示第37条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」は適用していません。

③ 持株流動性比率告示第52条に定める「その他偶発事象に係る資金流出額」には、投資ファンドに対する未出資金等を計上しております。

同告示第59条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、子銀行を除くグループ子会社の流動負債等を計上しております。

なお、連結流動性カバレッジ比率の算定にあたり、子銀行を除くグループ子会社の取扱いについて、当該子会社が保有する適格流動資産は零、また流動負債は全額資金流出するとみなして算出しております。

同告示第72条に定める「その他契約に基づく資金流入額」には、約定未受渡の無担保資金調達額等を計上しております。

④ 流動性カバレッジ比率（日次平均の値）に与える影響に鑑み、重要性が乏しいと考えられる項目については日次データを使用していない場合があります。

## Ⅲ. 安定調達比率に関する定性的開示事項【連結】

### 1. 時系列における安定調達比率の変動に関する事項

当社グループの安定調達比率は、2022年12月31日基準の初回算出以降、安定的に推移しております。

### 2. 持株流動性比率告示第99条各号に掲げる要件を満たす場合にはその旨

持株流動性比率告示第99条に定める「相互に係る資産・負債の特例」は適用しておりません。

### 3. その他安定調達比率に関する事項

規制で求められる安定調達比率の最低水準を上回っており、特段の問題はないものと考えております。

なお、安定調達比率の実績値は、当初の見通しと大きく異なっておりません。

また、今後の安定調達比率の見通しが現在の水準から大きく乖離することは想定しておりません。

## IV. 流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項【連結】

### 流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項【連結】

(単位：百万円、%、件)

項目		2022年度第4四半期 (2023年1月1日から2023年3月31日まで)		2022年度第3四半期 (2022年10月1日から2022年12月31日まで)	
		資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額	資金流出率を 乗じる前の額	資金流出率を 乗じた後の額
<b>適格流動資産 (1)</b>					
1	適格流動資産の合計額	2,125,526		2,248,145	
<b>資金流出額 (2)</b>					
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	5,802,247	455,633	5,785,114	453,624
3	うち、安定預金の額	1,948,094	58,442	1,956,767	58,703
4	うち、準安定預金の額	3,854,153	397,190	3,828,347	394,921
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	2,213,040	1,023,369	2,216,565	1,024,602
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外の ホールセール無担保資金調達に係る資金の額	2,063,377	873,706	2,065,292	873,329
8	うち、負債性有価証券の額	149,663	149,663	151,272	151,272
9	有担保資金調達等に係る資金流出額	—	25,851	—	7,037
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び 与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,608,907	188,198	1,645,636	187,701
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	51,546	51,546	46,770	46,770
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	—	—	—	—
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	1,557,361	136,652	1,598,866	140,931
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	69,352	62,052	80,370	68,204
15	偶発事象に係る資金流出額	48,874	18,533	50,882	20,021
16	資金流出合計額	1,773,639		1,761,191	
<b>資金流入額 (3)</b>					
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	—	—	—	—
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	843,911	668,150	752,555	603,563
19	その他資金流入額	119,478	88,912	110,458	85,400
20	資金流入合計額	963,390	757,062	863,013	688,963
<b>連結流動性カバレッジ比率 (4)</b>					
21	算入可能適格流動資産の合計額	2,125,526		2,248,145	
22	純資金流出額	1,016,577		1,072,228	
23	連結流動性カバレッジ比率	209.0		209.6	
24	平均値計算用データ数	60		62	

## V. 安定調達比率に関する定量的開示事項【連結】

### 安定調達比率に関する定量的開示事項【連結】

(単位：百万円、%)

項番		2023年3月期					2022年12月期				
		算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額	算入率考慮前金額				算入率 考慮後 金額
		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上		満期なし	6月未満	6月以上 1年未満	1年以上	
利用可能安定調達額 (1)											
1	資本の額	484,421	—	—	10,000	494,421	472,339	—	—	10,000	482,339
2	うち、普通株式等Tier1資本、 その他Tier1資本及びTier2資本 (基準日から1年を経過する 前に弁済期が到来するものを除く。) に係る基礎項目の額	484,421	—	—	10,000	494,421	472,339	—	—	10,000	482,339
3	うち、上記に含まれない資本調 達手段及び資本の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	個人及び中小企業等からの資金調達	5,790,124	—	—	—	5,309,445	5,856,679	—	—	—	5,372,278
5	うち、安定預金等の額	1,966,671	—	—	—	1,868,338	2,025,340	—	—	—	1,924,073
6	うち、準安定預金等の額	3,823,452	—	—	—	3,441,107	3,831,338	—	—	—	3,448,204
7	ホールセール資金調達	1,737,463	1,215,473	189,296	185,906	1,239,603	1,568,546	1,501,353	151,891	37,418	1,099,213
8	うち、適格オペレーショナル預 金の額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	うち、その他のホールセール資 金調達の額	1,737,463	1,215,473	189,296	185,906	1,239,603	1,568,546	1,501,353	151,891	37,418	1,099,213
10	相互に関係する資産がある負債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	その他の負債	171,845	214	—	66,923	—	139,156	2,269	—	63,705	—
12	うち、デリバティブ負債の額	—	—	—	66,923	—	—	—	—	63,306	—
13	うち、上記に含まれない負債の額	171,845	214	—	—	—	139,156	2,269	—	398	—
14	利用可能安定調達額合計	—	—	—	—	7,043,470	—	—	—	—	6,953,830
所要安定調達額 (2)											
15	流動資産の額	—	—	—	—	202,395	—	—	—	—	145,220
16	金融機関等に預け入れているオペ レーショナル預金に相当するものの額	13,241	—	—	—	6,620	6,744	—	—	—	3,372
17	貸出金又はレポ形式の取引による 資産及び有価証券その他これに類 するものの額	96,805	1,080,593	347,369	4,515,396	4,536,563	106,484	1,478,032	329,560	4,442,037	4,540,440
18	うち、レベル1資産を担保とす る金融機関等への貸出金及びレ ポ形式の取引による額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	うち、項番18に含まれない金 融機関等への貸出金及びレポ形 式の取引による額	3,928	202,799	63,074	702,841	765,387	4,671	579,597	39,829	697,566	805,121
20	うち、貸出金又はレポ形式の取 引による資産の額 (項番18、19 及び22に該当する額を除く。)	9,692	827,939	235,965	2,649,486	2,697,878	8,567	843,468	246,711	2,599,962	2,669,497
21	うち、リスク・ウェイトが 35%以下の資産の額	—	63,134	52,478	454,918	353,503	—	73,340	51,782	449,218	354,553
22	うち、住宅ローン債権	—	20,064	19,898	864,476	717,679	—	20,054	19,903	853,918	708,516
23	うち、リスク・ウェイトが 35%以下の資産の額	—	6,922	6,794	185,533	127,455	—	7,029	6,913	186,463	128,172
24	うち、流動資産に該当しない有 価証券その他これに類するもの	83,183	29,789	28,431	298,592	355,617	93,245	34,912	23,117	290,590	357,304
25	相互に関係する負債がある資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	その他の資産等	257,963	53,760	17,638	311,755	504,986	328,957	49,630	20,016	237,106	496,361
27	うち、現物決済されるコモディ ティ (金を含む。)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	うち、デリバティブ取引等又は 中央清算機関との取引に関連し て預託した当初証拠金又は清算 基金 (連結貸借対照表に計上さ れないものを含む。)	—	—	—	55,075	46,814	—	—	—	28,257	24,018
29	うち、デリバティブ資産の額	—	—	—	16,574	—	—	—	—	21,883	—
30	うち、デリバティブ負債 (変動証 拠金の対価の額を減ずる前) の額	—	—	—	113,919	5,695	—	—	—	115,830	5,791
31	うち、上記に含まれない資産及 び資本の額	257,963	53,760	17,638	126,184	452,475	328,957	49,630	20,016	71,136	466,551
32	オフ・バランス取引	—	—	—	1,592,025	98,394	—	—	—	1,620,675	96,160
33	所要安定調達額合計	—	—	—	—	5,348,960	—	—	—	—	5,281,554
34	連結安定調達比率	—	—	—	—	131.6	—	—	—	—	131.6